

2024年6月

電気設備学会 御中

文部科学省科学技術・学術政策研究所
科学技術予測・政策基盤調査研究センター

「第12回科学技術予測調査」へのご協力をお願い

拝啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

文部科学省科学技術・学術政策研究所は、次期の第7期科学技術基本計画(2026年度～)をはじめとする科学技術イノベーション政策や研究開発戦略の立案・策定の議論に資することを目的として、12回目となる「科学技術予測調査」を実施しています。

今般の調査では、科学技術全般にかかる7分野と、科学技術の寄与が期待される横断的な社会課題分野の全8分野を対象とし、分野別分科会において2055年までの重要トピック(科学技術課題や社会課題の解決手法等)を設定しました。本予測調査では、これらトピックの将来動向について、専門家の皆様からご見解をいただき、デルファイ法*に基づくアンケート調査を実施いたします。

つきましては、貴会会員様に回答のご協力をいただきたく、ここにお願ひ申し上げる次第です。詳細は、別添をご覧ください。

<8分野>①健康・医療・生命科学、②農林水産・食品・バイオテクノロジー、③環境・資源・エネルギー、④AI・ICT・アナリティクス・サービス、⑤マテリアル・デバイス・プロセス、⑥都市・建築・土木・交通、⑦宇宙・海洋・地球・科学基盤(量子ビーム/光/数理/素核宇)、⑧横断的社会課題(人文・社会科学含む)

* デルファイ法とは、米国のランド研究所が開発した予測手法の一つで、複数回のアンケートを実施することにより、確度の高い予測を得る方法です。本調査では2回繰り返しの調査を実施し、2回目の調査の回答時には1回目の全体の調査結果を観察し、再度回答を行う形で実施します。

ご多忙な時期とは存じますが、本調査が科学技術・イノベーション政策の議論において、また、よりよい未来に向けた各所での議論の有用な情報源となりますようお願いさせていただきますと有難く存じます。さらに、貴会におかれましては、融合領域や関連領域も含めた幅広い視点からの議論に活用いただければ幸甚に存じます。

ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

[別添]

お願い事項

本アンケートは、会員様にアンケートサイトにアクセスいただき、ご専門やご関心に応じて、回答分野及び細目を選択し、トピックを選んでご回答いただく形となっています。分野、細目は、会員様の関心に応じて、複数選択することが可能で、1細目あたり10～15程度のトピックに回答いただきます。会員様には、各トピックについて、その重要度、国際優位性、実現可能性(実現時期と実現に向けて対処すべき点)などについてのご回答をいただければ幸いです。また、第12回科学技術予測調査では、トピックの回答後、全分野共通設問として今後30年間の科学技術の進展の変化と、科学技術と社会の関係の変化について、ご意見をいただければ幸いです。

なお、本アンケートは、同じ質問を2回繰り返して回答を収れんさせるデルファイ法により実施いたします。

<お願い事項>

1. 貴会におかれましては、メール配信やウェブサイトへの掲載などの形で、アンケートの実施とご回答へのご案内等について、メール配信やウェブサイトへの掲載などの形で、会員様へのお知らせをお願いいたします。

<会員様のアンケート回答に係るタスク>

1. 本アンケートに関心を持っていただきました会員様におかれましては、当方のアンケートサイトにアクセスいただき、回答者登録をいただきます。続いて、アンケートのページを開いていただき、分野・細目を選んで、トピックのご回答いただきます。(2024年6月20日より開始)
2. 「科学技術予測調査」では、デルファイ法(複数回アンケートに回答する:本調査は2回)を用いた予測を実施しているため、第1回アンケートに回答下さった会員様には、2回目アンケートをご案内し、ご回答いただきます。なお、第2回アンケートの実施にあたり、改めて、貴会にアンケートの実施案内の周知等をお願いすることはありません。(2024年8～9月予定)

以上

■お問い合わせ

—調査受託者(事務局)—

公益財団法人未来工学研究所

担当:大竹、野呂、板垣

E-mail:yosoku12@ifeng.or.jp

TEL:03-5245-1015(代)、FAX:03-5245-1062

—調査実施者—

文部科学省科学技術・学術政策研究所 科学技術予測・政策基盤調査研究センター

担当:伊藤、黒木、横尾

E-mail:yosoku12q@nistep.go.jp